



多世代交流館と  
大間々公民館の  
Instagram  
みてね！

# 月刊 おおま公民館だより

令和7年11月21日 第104号  
発行：みどり市大間々公民館  
〒376-0115  
みどり市大間々町塩原363  
(みどり市多世代交流館内)  
電話：0277-76-2310  
FAX：0277-72-4312  
Eメール：okouminkan@city.midori.gunma.jp



和太鼓の響きが体育館にこだまし、全身で感じられました

## 第50回の節目

大間々地域芸術文化祭は、19日(日)には、ながめ余興場で芸能発表会。25日(土)〜26日(日)には、多世代交流館で美術展、25日(土)は節目である第50回を祝う式典が開催され、アトラクションは大いに盛り上がりしました。

多世代交流館体育館で行われた式典では、多くの来場者が集まる中、沢入サカス学校による妙技の披露、ウクレレ奏者によるバラエティあふれる演奏、桐生清桜高校和太鼓部による迫力ある演奏が行われ、楽しい時間となりました。

### 芸能部門「芸能発表会」



元気をもらえる  
大間々南幼稚園園児の演奏

ながめ余興場での芸能発表会には、大間々南幼稚園と赤城保育園が出演し、太鼓演奏を披露。そのほか舞踊や楽器演奏、南京玉すだれなどたくさんのおもしろい出し物が、観客を楽しませてくれました。

発表修了後は抽選会。みどモスが登壇し、会場では抽選券の読み上げに来場者からの一喜一憂の歓声が上がっていました。抽選会の終了後、みどモスは写真撮影に応じ、場を和ませていました。

抽選会ではみどモスも登場



### 展示部門「美術展」

多世代交流館での開催は初めてとなる美術展。大間々町内の幼稚園、保育園からの出品がありました。園児たちの作品はどれも可愛くて、それぞれの園がテーマをもつて集合作品を仕上げており、来場者の目を惹きつけてくれました。

水彩画、絵手紙、書道、ソーブカービング、かご編みのほか土偶などもあり、来場者は多彩な作品をじっくりと鑑賞していました。

ワークショップコーナーでは、多くの方が書道・絵手紙・かご編み・ソーブカービング体験を楽しんでいました。



園児たちの作品にほっこり

### 体育館が 利用制限されます

12月1日(月)～6日(土)

多世代交流館のLED照明切替工事のため、期間中、体育館の利用ができませんのでご注意ください。



皆勤賞の賞状を持ってパチリ

全5回に渡って行われた高齢者学級は、回数を重ねることで参加者同士の親交を深めてきました。新たな経験、笑顔で、楽しく参加を目指した全課程が修了しました。

第4回目は、10月15日(水)に行われ、プロ歌手の水谷利一先生によるカラオケ教室。声の出し方から練習し、気持ちよく元気な歌声が響きました。

第5回は、10月30日(木)の笑いヨガ教室です。インストラクター栗田久美

笑いヨガ教室  
みんなで笑います

先生に、笑って体内の息を入れ替えることの大切さを教えて頂きました。高齢者学級の最後を飾るにふさわしい、笑顔あふれる教室になりました。

## 仲間と過ごした体験時間

### 高齢者学級(全5回)が修了

日頃からの運動週間のために、歯磨き時にかかとを上げるなどの「ながら運動」を紹介してくださいました。

体を動かすと体と心に効果があることを説明した後、参加者と一緒に実践。筋力、バ

## 第2回市民講座 「元気に長生き」

11月8日(土)第2回市民講座「元気で長生き」が開催され、群馬県立心臓血管センター健康運動士園城朋子先生により、体育館に元気な声が響きました。



動くことは元気の薬

ランス力、柔軟性、持久力、俊敏性を身につける運動を、立って座って歩いて体験しました。

軽運動とはいえ、参加者は息を弾ませながら、体をしっかりと動かしていました。

## 運動する習慣を身につけよう!

## 子育ての悩みや 楽しさを共有

未就園の幼児を育児中の方を対象とした初めての子育て応援教室(全7回)。今回は第4回目から6回目までの様子をお伝えします。

10月29日(水)ママンタッチ主宰大矢宏美先生による思い出制作では、シューズクリップをつくりました。

お出かけ中に靴を脱いだ時、ベビーカーなどにつけておくことができる便利グッズです。



シューズクリップ

## 笑顔と感動の表彰式

### みどり市家族の日大会

11月9日(日)、多世代交流館において、みどり市女性会主催「みどり市家族の日大会」作文優秀作品の表彰式が行われました。

みどり市内の全小中学校から応募された684点から最優秀賞各学年1点、優秀賞各学年2点が選定され、全27名が表彰されました。

表彰式では、賞状授与の他、子供からご家族に花束の贈呈、最優秀作品の朗読、ご家族代表からの謝辞がありました。

お子さんから花束を渡された時の親御さんのほかに、かんだ笑顔が印象的でした。

作品の朗読では、家族への気持ちや素直に、ときによりモアを交えながら伝えられ、会場は感動に包まれました。



色とりどりパーツから好きな物を選んで組み合わせ製作。みんなかわいらしいできあがりになりました。

11月4日(火)産後ケアインストラクターによる産後ピラティス。出産後の疲れた体をリフレッシュしました。

11月9日(日)子育て支援センターと・ろの家の柏瀬久美子アドバイザーによるまったりティータイム。

子どもの病気や推薦絵本などの子育てで気になる悩みなどを話題に、意見交換が進みました。